

【国語】目標・内容表

特別支援学校学習指導要領（文部科学省）参照

学部	小学部			中学部		高等部		
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。							
思考力、判断力、表現力等	(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。			(2) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。		(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。		
段階の目標	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階	
					小学校1,2年	小学校3,4年	小学校5,6年	
思考力、判断力、表現力等	イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。	イ 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。	イ 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。	イ 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	
B 書くこと	書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。							
	題材の設定 / 情報の収集	ア(身近な人との関わり出来事) 伝えたいことを想起、選択	ア(経験したことの身近なこと) 写真などを手掛かりに伝えたいことを想起、選択	ア(身近で見聞きしたり、経験したりしたこと) 書きたい題材に必要な事柄を集める	ア(見聞きしたことや経験したこと) 伝えたいことを選択、大まかな内容のまとめ	相手や目的を意識して 書くことを選択、伝えたいことの明確化	目的や意図に応じて ア(書くために集めた材料を)比較、伝えたいことの明確化	
	内容の検討			イ 伝えたい事柄の順序	イ 事柄の順序に沿った簡単な構成	書く内容の中心を決めて イ 自分の考えと理由を明確にした文章の構成	イ 筋道の通った文章となる文章全体の構成	
	記述	イ 文字に興味・関心	イ 簡単な平仮名のなぞり書きや記述(自分の名前や物の名前)	ウ 簡単な語句や短い文(見聞きしたり、経験したりしたこと)	ウ 文の構成、語句の使い方	ウ 事実と自分の考えの違いを相手に伝える。	ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にする。	ウ 事実と感想、意見とを区別して書くなど自分の考えを伝える。
							書き表し方を工夫	エ 引用、図表やグラフの活用
	推敲			エ(教師の指導を基に)	エ(自分の気付きによる)	エ 文章を読み返す習慣身に付けた知識(語と語の続き方など)を基にした確認	エ 相手や目的を意識した表現	オ 文章全体の構成や書き表し方
共有			オ 感じたことを伝えること	オ 伝え合い	文章に対する感想の伝え合い オ 内容や表現のよいところ	文章に対する感想や意見の伝え合い オ 書こうとしたことが明確になっているかなどの観点 自分の文章のよいところ	カ 文章全体の構成が明確になっているかなどの観点 自分の文章のよいところ	